

## 会報記事索引(1991年3月号～1997年3月号)と(1997年第4号～2017年第1号)

1997年3月号まで毎月発行、1997年第4号から隔月発行、2009年から年4回発行、2017年から年2回発行しています。

	○一般論文、解説、紹介、調査など	(著者：敬称略)	(掲載年号)
1	遠赤外線利用における技術的諸問題(1)	東京農工大学:清水 賢	1991年7月号
2	遠赤外線利用における技術的諸問題(2)	東京農工大学:清水 賢	1991年8月号
3	遠赤外線利用における技術的諸問題(3)	東京農工大学:清水 賢	1991年9月号
4	遠赤外線セラミックスの現状と将来展望(1)	防衛医科大学校:菊地 眞	1991年10月号
5	遠赤外線セラミックスの現状と将来展望(2)	防衛医科大学校:菊地 眞	1991年11月号
6	遠赤外線セラミックスの現状と将来展望(3)	防衛医科大学校:菊地 眞	1991年12月号
7	植物の光感覚(1)	東京理科大学:井上 康則	1992年1月号
8	植物の光感覚(2)	東京理科大学:井上 康則	1992年2月号
9	UIE第12回に参加して	昭和電工(株):木村 嘉孝	1992年8月号
10	UIE第12回大会遠赤外線関連報告(1)	名古屋大学:市川 真人	1993年2月号
11	UIE第12回大会遠赤外線関連報告(2)	名古屋大学:市川 真人	1993年3月号
12	第6回国際食品工学会議レビュー	東京農工大学:清水 賢	1993年10月号
13	遠赤外線セラミックス技術の評価	防衛医科大学校:菊地 眞	1994年3月号
14	塗料と塗装について(1)	関西ペイント(株):藤原 勝二郎	1994年5月号
15	塗料と塗装について(2)	関西ペイント(株):藤原 勝二郎	1994年7月号
16	気のサーモグラフィによる研究	東京電機大学:町 好雄	1994年12月号
17	海外技術動向調査	旭硝子(株):高島 満夫	1995年1月号
18	省エネルギーと遠赤外線の活用	電力中央研究所:新田 義孝	1995年2月号
19	多孔質炭素材料ウッドセラミックスとその活用について	青森県工業試験場:岡部 敏広 他	1995年7月号
20	古代エジプトピラミッド内壁タイルのキャラクタリゼーション	(株)INAX:後藤 泰男 他	1995年9月号
21	遠赤外線分光放射率測定用標準試料の制定	電力中央研究所:中野 幸夫	1996年1月号
22	21世紀への3動向－平坦化・直線化・継続化の3ウェーブ	博報堂生活総合研究所:林 光	1997年第4号
23	ソフト指向による高付加価値化	ソニー(株)技術渉外部:山敷 裕	1997年第6号
24	人体情報センサ	松下電器産業(株)生活環境システム開発センター:古池 信幸	1997年第7号
25	遠赤放射加熱技術発展の経緯(1)	栗原工業(株):森田 政明	1998年第1号
26	遠赤放射加熱技術発展の経緯(2)	〃	1998年第2号
27	分光放射率の測定	宮川技術士事務所:宮川 實	1998年第2号
28	放射温度測定の基礎	〃	1998年第3号
29	マーケットインの事業開発－熟成時代における市場対応策の展開－	榊野村総合研究所:亀井 敏郎	1998年第2号
30	赤外自由電子レーザーについて(Ⅰ)	東京理科大学総合研究所:黒田 晴雄	1998年第5号
31	赤外自由電子レーザーについて(Ⅱ)	東京理科大学総合研究所:黒田 晴雄	1998年第6号

32	遠赤外線利用で思うこと	高嶋 廣夫	1999年第1号
33	ドイツ物理工学研究所に滞在して	工業技術院計量研究所:石井 順太郎	1999年第2号
34	遠赤外線による全身ハイパーサーミアの方向性	ルカ病院ハイパーサーミア治療部:竹内 晃	1999年第2号
35	21世紀へ向けてのモノづくり―「想い」を売る会社―	大垣女子短期大学:森 孝之	1999年第4号
36	エネルギー需要構造改革投資促進税制(エネ革税制)について	(社)遠赤外線協会	1999年第5号
37	赤外線サーモグラフィの最新動向	日本アビオニクス(株):加藤 久和	1999年第5号
38	シュテファン―ボルツマンの法則	東京農工大学名誉教授:清水 賢	2000年第1号
39	英国の政策とその評価	通商産業省産業施設課長:平野 正樹	2000年第1号
40	平成11年度受託調査研究報告書の概要紹介	(社)遠赤外線協会	2000年第3号
41	材料面から見た環境負荷の総合的評価の必要性について及びセラミックスの環境問題への貢献	通商産業省ファインセラミックス室長:戸井 朗人	2000年第3号
42	満3年を迎えた自主認定制度の現状	(社)遠赤外線協会	2000年第5号
43	熱放射の統計力学とプランクの公式―前編―	東京農工大学名誉教授:清水 賢	2000年第5号
44	熱放射の統計力学とプランクの公式―後編―	東京農工大学名誉教授:清水 賢	2000年第6号
45	遠赤外線利用で思うこと(2); ニーズと技術の間の狭間	高嶋 廣夫	2000年第6号
46	21世紀における医療、福祉、保健技術	防衛医科大学校:菊地 眞	2001年第1号
47	平成12年度受託調査研究報告書の概要紹介	(社)遠赤外線協会	2001年第3号
48	わが国における材料技術戦略	経済産業省ファインセラミックス室長:塚本 修	2001年第4号
49	平成13年度受託調査研究報告書の概要紹介	(社)遠赤外線協会	2001年第5号
50	遠赤外線センシング技術と電化製品への応用	三洋電機(株)ニューマテリアル研究所:柴田 賢一	2001年第5号
51	FTIRを用いた赤外線放射率の間接測定	(財)ファインセラミックスセンター:柴田 典義、武田 保敏、伊藤博基	2001年第6号
52	全身ハイパーサーミアと新しい“Evidence”	ルカ病院ハイパーサーミア治療部:竹内 晃	2002年第1号
53	東京理科大学の赤外自由電子レーザー施設の現状	東京理科大学総合研究所:河合 正之	2002年第2号
54	エネルギー需要構造改革投資促進税制の概要	(社)遠赤外線協会	2002年第3号
55	遠赤外線に関する卒業論文と修士論文研究テーマ	東京農工大学名誉教授:清水 賢	2002年第3号
56	協会活動の思い出	(株)クラレ:江寄 為丸	2002年第3号
57	遠赤外線協会の「夜明け」	高田技術事務所:高田 紘一	2002年第3号
58	協会発足の頃―技術委員会と外部委託研究	木村技術事務所:木村 嘉孝	2002年第3号
59	水と遠赤外放射加熱	名古屋大学名誉教授:市川 眞人	2002年第3号
60	遠赤外線だからできる新技術・新商品開発―その体系的アプローチについて―	高田技術事務所:高田 紘一	2002年第4号
61	分光放射率の間接測定法(積分球を使用した測定およびスペクトルシミュレーション)	(株)東レリサーチセンター:泉 由貴子	2002年第5号
62	食品の赤外分光分析と食品加工プロセスにおけるその応用	三重大学生物資源学部:橋本 篤、亀岡 孝治	2002年第5号
63	遠赤外線とがん治療	東京女子医大名誉教授:横山 正義	2003年第2号
64	遠赤外線からの独走の新商品開発(1)	高田技術事務所:高田 紘一	2002年第1号

65	遠赤外線からの独走的新商品開発(2)	高田技術事務所:高田 絃一	2003年第1号
66	遠赤外線からの独走的新商品開発(3)(最終回)	高田技術事務所:高田 絃一	2003年第3号
67	コンクリート構造物診断技術の研究開発を終えて	遠赤外線協会:川西 康裕	2003年第3号
68	遠赤外線協会が使用する三つのマーク	(社)遠赤外線協会	2003年第4号
69	毛細血管のつまりから起きる生活習慣病	(独)食品総合研究所:菊池 佑二	2003年第4号
70	省エネルギー・新エネルギー施設の導入等に対する金融・税制上の助成措置(平成15年度)	(社)遠赤外線協会	2003年第5号
71	新JISマークせいどについて	(社)遠赤外線協会	2003年第6号
72	IT投資促進税制の創設について	(社)遠赤外線協会	2003年第6号
73	不当景品類及び不当表示防止法の一部改正について	(社)遠赤外線協会	2003年第6号
74	遠赤外線利用で思うこと(3)	高嶋 廣夫	2004年第1号
75	最近の放射冷暖房システムとヨーロッパ、日本の状況	(株)トヨックス:瀬沼 央	2004年第2号
76	高機能性耐熱塗料	宇部興産(株):塩路 泰広	2004年第3号
77	太陽集光装置ヘリオスタット	三鷹光器(株):中村 勝重、(財)エネルギー総合研究所:吉田 一雄	2004年第5号
78	遠赤外線四方山話(1)遠赤外線と電磁波	(株)ジャード:佐々木 完	2004年第5号
79	遠赤外線四方山話(2)遠赤外線の生い立ちと名称	(株)ジャード:佐々木 完	2004年第6号
80	放射冷房空間の熱環境解析・評価方法	(財)電力中央研究所:宮永 俊之	2004年第6号
81	遠赤外線四方山話(3)遠赤外線の用途と変遷	(株)ジャード:佐々木 完	2005年第1号
82	遠赤外線四方山話(4)遠赤外線と生活の知恵	(株)ジャード:佐々木 完	2005年第2号
83	遠赤外線四方山話(5)遠赤外線利用の善玉	(株)ジャード:佐々木 完	2005年第3号
84	温度計測雑感	宮川技術士事務所:宮川 實	2005年第3号
85	「屋根遮熱・断熱塗装システム」の開発について	関西ペイント販売(株):広瀬 哲也	2005年第3号
86	遠赤外線四方山話(6)遠赤外線利用の善玉	(株)ジャード:佐々木 完	2005年第4号
87	遠赤外線放射暖房装置(ガス、灯油炊)	日精オーバル(株):加藤 正顕	2005年第5号
88	東京理科大見学記	東京農工大学名誉教授:清水 賢	2005年第5号
89	「学校関係」:遠赤外線暖房で	日精オーバル(株):加藤 正顕	2005年第6号
90	東京理科大学見学記(2)	東京農工大学名誉教授:清水 賢	2005年第6号
91	遠赤外線利用で思うこと(4)	高嶋 廣夫	2006年第1号
92	「学校関係」:養護学校関係と大災害非難所の体育館に対する遠赤外線暖房評価の回顧	日精オーバル(株):加藤 正顕	2006年第1号
93	赤外線自由電子レーザーの医学への応用とその基礎研究	東京農工大学名誉教授:清水 賢	2006年第2号
94	「高温多湿の室内温水プール」で健康的な快適環境にする換気とガス遠赤外線暖房装置の回顧	日精オーバル(株):加藤 正顕	2006年第2号
95	最近の保温繊維事情	お茶の水女子大学名誉教授:中島 利誠	2006年第3号
96	日本でのサウナの歴史「ガス遠赤外線サウナヒータ」の役割	日精オーバル(株):加藤 正顕	2006年第3号
97	見学会報告:TGSセンサー組込み遠赤外線測定システム	東京農工大学名誉教授:清水 賢	2006年第4号

98	世界史における科学と発見・発明の年表で 赤外線の中の遠赤外線の回顧	日精オーバル(株)：加藤 正顕	2006年第5号
99	電波の利用 一放送・通信事情概説一	遠赤外線協会：佐川 守一	2006年第5号
100	吸湿発熱機構による冬物衣料の開発と商品化について	ミズノ(株)：荻野 毅	2006年第6号
101	世界史における科学と発見・発明の年表で 赤外線の中の遠赤外線の回顧一②	日精オーバル(株)：加藤 正顕	2006年第6号
102	高品質の粉体、液体の輸送コンテナの再使用で新品同様に洗浄、乾燥工程に遠赤外線乾燥炉の省エネ、品質、省力化効果事例	日精オーバル(株)：加藤 正顕	2007年第1号
103	省エネルギー技術戦略	遠赤外線協会	2007年第2号
104	遠赤外線の”すばらしさ”と”燃焼省エネ技術”との関わりについて	法政大学名誉教授：岡島 敏	2007年第3号
105	「おらが学校」に遠赤外暖房を採用	日精オーバル(株)：加藤 正顕	2007年第3号
106	21世紀：[天災は忘れない頃やって来る]	日精オーバル(株)：加藤 正顕	2007年第4号
107	21世紀：[天災は忘れない頃やって来た]	日精オーバル(株)：加藤 正顕	2007年第5号
108	燃焼・省エネ・CO2削減への遠赤外線効果	法政大学名誉教授：岡島 敏	2007年第6号
109	富士山溶岩浴の遠赤外線による心身に与える影響について	(株)マグマスジャパン：小泉 正太	2008年第1号
110	健全な次世代づくりに快適な教育環境	日精オーバル(株)：加藤 正顕	2008年第1号
111	全学校教室、体育館等の公共施設の災害対策推進が急務	日精オーバル(株)：加藤 正顕	2008年第3号
112	宇宙に学ぶ“人生の歩き方”	鈴鹿短期大学 学長：佐治 晴夫	2008年第4号
113	医療・福祉技術の開発とその振興策の現状	防衛医科大学校：菊地 眞	2009年第2号
114	2020年の香港経済展望－明らかにになった珠江デルタ経済圏の未来	香港貿易発展局 日本首席代表：古田 茂美	2010年第2号
115	窓をとりまく環境	板硝子協会：木原 幹夫	2011年第1号
116	インターネットの概況とマーケティング活用の実際～専門家がガイドする、総合情報サイトAll Aboutのご紹介～	(株)オールアバウト 代表取締役兼CEO：江幡哲也	2011年第2号
117	新たな成長に関する2事業分野の取組紹介	パナソニック(株)：守屋好文	2012年第1号
118	次世代エネルギーとスマートエネルギー構想	東京工業大学 教授 先進エネルギー国際研究センター長：柏木 孝夫	2012年第2号
119	「遠赤外線による食味向上研究会」を終えて	(一社)遠赤外線協会：佐川 守一	2013年第1号
120	シェールガスで変わる日本のエネルギー事情	大阪ガス(株)：大橋 俊邦、久米 辰雄	2013年第2号
121	CFD(Computational Fluid Dynamics: 数値流体力学)に基づく室内温熱環境解析	東京大学 生産技術研究所 副所長・教授：加藤 信介	2014年第2号
122	最近の環境・エネルギー問題と今後の動向	大阪ガス(株) 長もちの科学研究センター 特任教授：久米 辰雄	2015年第2号
123	快適被服を科学する－猛暑の夏を乗り切るための着衣の工夫－	横浜国立大学教授：薩本 弥生	2016年第2号

	○加熱技術関連	(著者：敬称略)	(掲載年号)
1	「ガス遠赤外線サウナ」の健康面の効果について(1)	大阪ガス(株)：南嶋 兆司	1991年3月号
2	「ガス遠赤外線サウナ」の健康面の効果について(2)	大阪ガス(株)：南嶋 兆司	1991年5月号
3	自動車部品塗装乾燥への遠赤外線加熱利用	サーミック(株)：田中 裕男	1991年4月号
4	遠赤焙煎珈琲	ポッカコーポレーション(株)：木野 卓也	1991年4月号
5	遠赤外線柿干熟システム	タチバナペーパーウエア(株)：立花 孝全	1991年4月号
6	遠赤外線加熱過程シミュレーション(1)	(財)電力中央研究所：中野 幸夫	1992年3月号

7	遠赤外線加熱過程シミュレーション(2)	(財)電力中央研究所:中野 幸夫	1992年4月号
8	遠赤外線加熱における放射と対流に関する考察	日本ガイシ(株):池上 良一	1992年12月号
9	遠赤外加熱による含水物内部への熱浸透について	名古屋大学:市川 真人	1993年1月号
10	ガス・灯油だき遠赤外線ヒータシステムの利用事例について	日精オーバル(株):加藤 正顕	1993年4月号
11	遠赤外線加熱技術の発展について	昭和電工(株):木村 嘉孝	1993年5月号
12	第8回国際乾燥シンポジウムに参加して	三重大学:橋本 篤	1993年7月号
13	遠赤外線によるコーヒー豆の焙煎	ポッカコーポレーション(株):木野 卓也	1993年9月号
14	溶融を伴う非加熱物の赤外線加熱シミュレーション	(財)電力中央研究所:宮永 俊之	1993年11月号
15	放射加熱における対流加熱併用の意義	昭和電工(株):木村 嘉孝	1993年12月号
16	遠赤外線放射率を向上させたアルミニウム材料の熱移動特性	日本軽金属(株):高田 紘一	1994年1月号
17	産業分野における遠赤外線加熱利用の発展と将来動向	サーミック(株):近藤 嘉秀	1994年2月号
18	ガス燃焼式輻射(赤外線)加熱の基盤技術	岐阜大学:花村 克悟	1994年9月号
19	海外の赤外加熱技術	TKエンジニアリング(株):木村 嘉孝	1995年3月号
20	遠赤外線乾燥による果物の成分比較	タチバナペーパーウエア(株):立花 孝全	1995年4月号
21	遠赤外加熱と塗装乾燥	日本ガイシ(株):杉 伸雄	1995年8月号
22	遠赤外線照射殺菌の特性	東京農工大学工学部:清水 賢	1995年10号
23	木材乾燥における対流・輻射の応用	住金ホトンセラミックス(株):加藤 裕紀	1995年11月号
24	パルプモールド製造装置	(株)ノリタケカンパニー:前田 智朗	1995年12月号
25	遠赤外加熱バッチ炉の考察	TKエンジニアリング(株):木村 嘉孝	1996年2月号
26	塗装乾燥と遠赤外加熱	サーミック(株):近藤 嘉秀	1996年3月号
27	文教施設に対する遠赤外線暖房機の利用について	日精オーバル(株):加藤 正顕	1996年4月号
28	合成繊維屑のリサイクルシステムの研究 -遠赤外加熱による断熱板材の試作-	福井大学:木村照夫 他	1996年4月号
29	連続式鰻焼き上げ機の開発	高田 紘一	1996年5月号
30	食品の遠赤外線放射体による加熱の特徴	横浜国立大学:渋川 祥子	1996年8月号
31	電気式赤外加熱のヨーロッパの動向(1)	名古屋大学名誉教授:市川 真人	1996年10月号
32	電気式赤外加熱のヨーロッパの動向(2)	名古屋大学名誉教授:市川 真人	1996年11月号
33	丸太の遠赤外線燻煙熱処理による壁孔壁の破壊と材質改良	宇都宮大学:古沢 伸夫	1996年12月号
34	遠赤外線照射殺菌及びセラミックスによる殺菌	神奈川工科大学:澤井 淳 他	1997年1月号
35	省エネルギー、環境保全にガス、灯油遠赤外線暖房及び乾燥装置	日精オーバル(株):加藤 正顕	1997年2月号
36	食品焙煎での遠赤外線効果に関する研究	共立女子短期大学:津田 淑江	1997年第7号
37	食品焙煎焼時の放射加熱と対流加熱の比較および遠赤外線の効果	横浜国立大学教育学部:渋川 祥子	1997年第7号
38	遠赤外線利用の研究を回顧して-電磁波利用による食品の効率的加工・貯蔵技術の開発-	東京農工大学名誉教授:清水 賢	1998年第1号
39	遠赤放射アルマイト「フジホッカー」	(株)フジクラ、基盤材料研究所:猿渡 光一	1998年第2号

40	遠赤外線式漬物乾燥炉	日本ガイシ(株)燃焼装置事業部:中村 昭彦	1998年第2号
41	温暖化気象下における干柿加工法	タチバナペーパーウェア(株):立花 孝全	1998年第3号
42	ブラウン管加熱システムにおける温度勾配制御	(株)リタケカンパニー:服部 靖彦	1998年第3号
43	新しい遠赤外線利フロー技術の開発	(株)富士通研究所:作山 誠樹、田中 久雄	1998年第3号
44	環境にやさしい多段触媒燃焼式遠赤外線ヒーター「エコレイヒーター」の紹介	日本石油(株)、日精オーバル(株)	1998年第4号
45	炊飯器における遠赤外線効果の研究	共立女子短期大学:津田 淑江	1998年第4号
46	遠赤外線パネルヒータを利用した「布団レスこたつの開発」の紹介	(株)日立ホームテック	1998年第5号
47	新時代に順応するオープンシステム学校暖房に遠赤外線暖房装置	日精オーバル(株):加藤 正顕	1998年第5号
48	幼稚園、小中学校の教育環境と健康的で快適な環境作りに遠赤外線暖房装置	日精オーバル(株):加藤 正顕	1998年第6号
49	ハニカム温風機の遠赤外線効果について	TDK(株)メディア事業本部:小谷 捷	1999年第3号
50	構造物の温度上昇を抑える光高反射・熱高放射塗料	鹿島建設(株)技術研究所:二階堂 稔	1999年第3号
51	遠赤外線技術による環境対応設備への応用	(株)リタケカンパニー:小椋 裕	1999年第3号
52	電磁波放射体セラヒートを熱源とした新しいサウナ「KS-HIRO」の紹介	栃木電子工業(株):廣田 行男、廣田 剛治	1999年第4号
53	FRTP(繊維強化熱可塑性樹脂)廃棄物再生加熱炉の紹介	中部電力(株)、(株)リタケカンパニーリミテド	1999年第4号
54	遠赤外線加熱方式による粉体塗装乾燥システム	(株)桂精機製作所:赤松 賢一	1999年第6号
55	遠赤外線高放射材「フジホッカー」の現状	(株)フジクラ、材料技術研究所:前嶋正受、猿渡光一	2000年第2号
56	遠赤外線焼成炉	(株)リタケカンパニー:服部 靖彦	2000年第2号
57	クリーン乾燥炉	日本ガイシ(株)燃焼装置事業部:西塚 誠	2000年第2号
58	地球温暖化対策推進に画期的省エネの遠赤外線ヒータの活用	日精オーバル(株):加藤 正顕	2000年第3号
59	炭遠赤フッ素樹脂コート釜を搭載したIHジャー炊飯器の開発	松下電器産業(株)炊飯機器事業部:西田 隆、大橋 秀行	2000年第4号
60	遠赤外線による殺菌とその応用の現状	神奈川工科大学:澤井 淳	2000年第6号
61	遠赤外線を熱源とした農産物の乾燥	北海道大学大学院:伊藤 和彦	2001年第1号
62	茶加工への遠赤外加熱の応用	(株)伊藤園 中央研究所:竹尾 忠一	2001年第2号
63	遠赤外線加熱式プラスチック成形品アニール装置	(株)リタケカンパニー:清水英孝、中部電力(株)河村和彦	2001年第3号
64	ガス遠赤外線によるLPガス容器粉体塗装乾燥事例の紹介	(株)桂精機製作所燃焼機事業部:古川 安夫	2001年第5号
65	遠赤外加熱に対する雑感	(有)AMK:安坂 耕一	2001年第6号
66	デンソー遠赤外線ヒーター“エンセキ”について	(株)デンソー:西村 末吉	2002年第2号
67	ガス、灯油遠赤外線放射暖房機について30年の回顧	日精オーバル(株):加藤 正顕	2002年第3号
68	茶の香りと遠赤外線加熱	(株)伊藤園中央研究所:竹尾 忠一	2002年第3号
69	遠赤農産物私感	タチバナペーパーウェア(株):立花 孝全	2002年第3号
70	遠赤輻射と温風暖房の2つの機能を搭載した石油遠赤ヒータ「2暖構え」の開発	松下電器産業(株)電化・住設社:米野 範幸、重岡 武彦	2002年第4号
71	きのこ培地の再生処理装置の開発についてー遠赤外線による農業廃棄物の再利用ー	関西電力(株):奥田 雅一、(株)関西総合環境センター:丸山 伴	2002年第6号
72	食品加熱における遠赤外線の効果	横浜国立大学名誉教授:渋川 祥子	2002年第6号

73	湿潤粉体層の遠赤外線乾燥における熱移動と物質移動モデル(1)	東京農工大名誉教授:清水 賢	2004年第1号
74	湿潤粉体層の遠赤外線乾燥における熱移動と物質移動モデル(2)	東京農工大名誉教授:清水 賢	2004年第2号
75	湿潤粉体層の遠赤外線乾燥における熱移動と物質移動モデル(3)	東京農工大名誉教授:清水 賢	2004年第3号
76	湿潤粉体層の遠赤外線乾燥における熱移動と物質移動モデル(4)	東京農工大名誉教授:清水 賢	2004年第4号
77	調理家電における遠赤外線の応用	松下電器産業(株):金澤 成寿、福本 明美	2007年第2号
78	加熱調理における遠赤外線の効果	聖徳大学教授:渋川 祥子	2007年第4号
79	我が「焼きじゃが」(油で揚げないポテトチップス)と遠赤外線	ユニバースフーズ(株):渡邊 勲	2007年第5号
80	金ナノ構造におけるプラズモン共鳴を利用した赤外熱放射光源の開発	ナルックス(株):池田 賢元、独立行政法人物質・材料研究機構:宮崎 英樹	2008年第3号
81	遠赤外線セラミックスによる細菌の殺菌作用とその効果	東京農工大名誉教授:清水 賢	2008年第5号
82	赤外炉の最適温度条件決定における短時間化	日本ガイシ(株):近藤 良夫	2009年第4号
83	遠赤外線で食材を包み込んで焼く「輻射窯ガスオープン」	キューーハン(株):小川 敬司	2010年第1号
84	自然エネルギーと天井放射冷暖房システム	三権設備工業(株):桑原 亮一	2010年第4号
85	最近の遠赤外放射による殺菌	神奈川工科大学:澤井 淳	2010年第4号
86	閉空間におけるふく射平衡に関する一考察	日本ガイシ(株):近藤 良夫	2011年第3号
87	クイックレスポンスヒータの応用	TPR熱学(株):樫本 尊久	2011年第4号
88	スモークオフグリルの開発	リンナイ(株) 竹本 安伸	2012年第1号
89	物体からの熱放射スペクトルの大幅な狭帯域化に成功	京都大学 光量子電子工学分野 野田研究室	2012年第4号
90	「遠赤外線による食味向上研究会」を終えて	遠赤外線協会:佐川 守一	2013年第1号

	○常温作用関連	(著者:敬称略)	(掲載年号)
1	冷蔵庫における遠赤外線の応用	(株)日立製作所:中 礼司	1991年4月号
2	大東紡セラミックス着用による皮膚温度変化	日本バイリン(株):村上 正	1991年4月号
3	生体の分光放射特性(1)	ダイキン工業(株):小林 正持	1992年5月号
4	生体の分光放射特性(2)	ダイキン工業(株):小林 正持	1992年7月号
5	食品分野における微弱エネルギーの非熱的利用(1)	食品総合研究所:岩本 睦夫	1992年10月号
6	食品分野における微弱エネルギーの非熱的利用(1)	食品総合研究所:岩本 睦夫	1992年11月号
7	遠赤外線放射セラミックスに関する研究論文の紹介 -睡眠・成長・血流・蓄熱保温-	西川産業(株):深井 幸四郎	1994年8月号
8	繊維断熱材におけるふく射伝播	東京工業大学:黒崎 晏夫 他	1994年11月号
9	酵素とは何か	静岡県立大学:小橋 昌裕	1995年5月号
10	超多収稲作	タチバナペーパーウエア(株):立花 孝全	1996年5月号
11	水に対する遠赤外線の作用の評価方法	信州大学名誉教授:松崎 五三男	1996年7月号
12	食品・生体成分の構造と機能に及ぼす遠赤外線の非加熱効果	静岡県立大学:小橋 昌裕	1996年9月号
13	遠赤外線の水の構造と物性に及ぼす無熱効果に関する基礎研究	静岡県立大学:片山 誠二	1996年10月号
14	常温域遠赤外線セラミックスの生体作用効果を確認するための実験モデルに関する研究	防衛医科大学校:菊地 眞	1996年11月号

15	超多収稲作Ⅱ	タチバナペーパーウェア(株):立花 孝全	1997年第4号
16	サーモグラフィ解析によるセラミックス加工繊維の保温・温熱性	大阪府立産業技術総合研究所:石倉 信作	1997年第4号
17	水の熱伝導に及ぼす遠赤外線固有の効果に関する研究	静岡県立大学薬学部:片山 誠二、小沢 一夫	1997年第5号
18	微生物の増殖及び生理活性に及ぼす遠赤外線の影響	東京理科大学理工学部:西村 行正	1997年第5号
19	食品・生体成分の構造と機能に及ぼす遠赤外線の非加熱効果	静岡県立大学食品栄養学部:小橋 昌裕	1997年第5号
20	生体組織レベルにおける常温域遠赤外線セラミックスの作用効果に関する研究	防衛医科大学校医用電子工学:菊地 眞、守本 祐司	1997年第5号
21	セラミックス加工寝具の生体への温熱性に関する温熱生理学的検討	大阪府立産業技術総合研究所:石倉 信作	1997年第6号
22	ある論文への反論	(社)遠赤外線協会:室 邦彦	2000年第4号
23	衣類の熱放射が人体に及ぼす影響	昭和女子大学:中島 利誠、鉢野 ゆき、山野 春子	2000年第5号
24	発汗に伴う衣類からの収着熱発生と体温調節反応への影響	神戸女子大学:田中 香利、平田 耕造	2001年第2号
25	氷蓄熱式放射冷房システムの机上評価	(財)電力中央研究所 狛江研究所:中野 幸夫	2001年第3号
26	遠赤外線と繊維(布)との生体反応	生体情報システム研究所:藤田 紀盛	2001年第6号
27	遠赤外線による生体構成分子の観測	東京医科大学:會沢 勝夫	2004年第4号
28	赤外線による生体画像計測	東京工芸大学:石川 和夫	2005年第4号
29	近未来宇宙暮らしユニット/宇宙での生活支援研究	日本女子大学:多屋 淑子	2006年第4号
30	暑熱対応の寝具	西川産業(株)日本睡眠科学研究所:中村 勤	2008年第3号
31	食のおいしさを科学する	太陽化学(株):羽木 貴志	2009年第1号
32	光電子@繊維	(株)ファーベスト:菊田 俊一	2010年第3号
33	CFDに基づく室内温熱環境解析	東京大学生産技術研究所 副所長 加藤 信介	2014年第2号

○会員紹介・製品紹介		社 名	(掲載年号)
1	インフラレックス・パーク(導電性遠赤外線ヒータ)	旭硝子(株)	1991年4月号
2	多機能発熱素子	松下電器産業(株)	1991年4月号
3	新型遠赤外線放射材料とガス遠赤外線塗装乾燥炉	大阪ガス(株)	1991年4月号
4	遠赤外線プレートヒータと真空低温乾燥機	新日本製鉄(株)	1991年4月号
5	木製家具の高速塗装乾燥システム	日本ガイシ(株)	1991年4月号
6	遠赤外線利用海苔乾燥機及び製茶機	住友金属工業(株)	1991年4月号
7	ガス・灯油焚き遠赤外線暖房機及び乾燥機	日精オーバル(株)	1994年4月号
8	触媒脱臭エレメント	松下電器産業(株)	1994年4月号
9	メタルファイババーナーの開発	東京ガス(株)	1994年4月号
10	樹脂シート・ラミネート加工用加熱装置	日本ガイシ(株)	1994年4月号
11	輻射型気流乾燥システム	住友金属工業(株)	1994年4月号
12	ノリタケパルプモールドプラント	(株)ノリタケカンパニーリミテド	1994年4月号
13	透けない水着	(株)クラレ	1995年4月号



14	コードレスアイロン	松下電器産業(株)	1995年4月号
15	遠赤外線センサー	松下電器産業(株)	1995年4月号
16	シリカコート硬化炉	(株)リタケカンパニーリミテド	1995年4月号
17	キャタリティックヒーター	東京ガス(株)	1995年4月号
18	ガス・灯油焚き遠赤外線暖房機及び乾燥機	日精オーバル(株)	1995年4月号
19	エアブロー式遠赤外線塗装乾燥炉	日本ガイシ(株)	1995年4月号
20	セラミックス遠赤外線高温ヒーター「インフラセラム」	日本ガイシ(株)	1996年2月号
21	Gフレックスヒーターと塗装乾燥例	(株)リタケカンパニーリミテド	1996年3月号
22	遠赤外線ヒーターの応用	帝国ピストンリング(株)	1996年3月号
23	赤外線治療器	松下寿電子工業(株)	1996年4月号
24	光消臭・光抗菌繊維「シャインアップEX」	(株)クラレ	1997年2月号
25	シート型セラミックス遠赤外線ヒーター	東海高熱工業(株)	1997年2月号
26	メタルファイババーナー	東京ガス(株)	1997年2月号
27	ガス遠赤外線加熱 豆焙煎機	(株)リタケカンパニーリミテド	1997年2月号
28	アスファルトシート加熱炉	日本ガイシ(株)	1997年2月号
29	遠赤外加熱を利用したペースト硬化炉	TKエンジニアリング(株)	1997年3月号
30	遠赤外線低温サウナ、汚水・下水浄化システム	栃木電子工業(株)	1997年第4号
31	遠赤外線焙煎コーヒーの商品と特徴	(株)ポッカコーポレーション	1997年第4号
32	ドクターセラ、ムアツふとん	西川産業(株)	1997年第5号
33	電気式遠赤外線ヒータ、ガス式遠赤外線ヒータ	(株)リタケカンパニーリミテド	1997年第5号
34	遠赤外ヒータと応用機器、産業廃棄物処理装置	サーミック(株)	1997年第6号
35	遠赤外ヒータ及び加熱炉	日本ガイシ(株)	1997年第6号
36	世界初の缶入り緑茶、カテキンウォーター	(株)伊藤園	1997年第7号
37	産業分野でのガスの用途と遠赤外ヒータ	東京ガス(株)	1998年第1号
38	遠赤外放射率測定例やその他の分析業務の紹介	(株)東レリサーチセンター	1998年第1号
39	オーラ繊維の4つのポイント、製品紹介	(株)メカニカルプラネット	1998年第2号
40	自動車板金塗装乾燥機、電子/樹脂関連小型遠赤外炉	帝国ピストンリング(株)	1998年第3号
41	遠赤外線ヒータ、リクライト、エレマ発熱体など	東海高熱工業(株)	1998年第5号
42	遠赤外線暖房機「ほか暖くん」及びオリンピックトーチ	(株)桂精機製作所	1998年第5号
43	再生紙クロス、衣料用接着芯地、ホルムアルデヒド吸着壁紙	ダイニック(株)	1998年第6号
44	DAIKEN石英赤外線ランプ、遠赤外線ヒータ・装置など	大建電器(株)	1998年第6号
45	各種流量計、燃焼機器とその応用機器	日精オーバル(株)	1999年第1号
46	遠赤外線関連研究の紹介	(財)電力中央研究所 狛江研究所	1999年第1号

47	遠赤貴菌磨米製造機、遠赤貴鮮度保持殺菌機、絹柿卵など	タチバナペーパーウェア(株)	1999年第2号
48	ファーベスト・ファイバー、バイオボードなど	(株)ファーベスト	1999年第2号
49	赤外線関連の研究および試験業務の紹介	(財)日本化学繊維検査協会	1999年第3号
50	スタンバブルシート加熱装置、プリント基板印刷乾燥装置	井原築炉工業(株)	1999年第3号
51	遠赤外線放射繊維「ロンウェーブ」について	(株)クラレ	1999年第4号
52	温調コンロ「グルメ7」、ガス風呂給湯器「ユッコUFV」	リンナイ(株)	1999年第4号
53	業務用油だき可搬形ヒータ(熱風式、放射式)の紹介	オリオン機械(株)	1999年第5号
54	「カシミア加工繊維」とは	住金物産(株)	1999年第5号
55	ビバンナー遠赤サポーター、あったかソックス	(株)新生	1999年第6号
56	ガス遠赤外線ヒータ及び加熱装置、メタルニットバーナー	細山熱器(株)	1999年第6号
57	遠赤外線放射アクリル繊維「セラムA」	東洋紡績(株)	2000年第1号
58	導電性セラミックスヒータ「インフラレックス・パーク」	旭硝子(株)	2000年第1号
59	遠赤外線関連商品(炊飯器、コタツ、ストーブなど)	(株)日立ホームテック	2000年第2号
60	多段触媒燃焼式遠赤外線ヒーター「エコレイヒーター」	日石三菱(株)	2000年第2号
61	ファインセラミックスセンターの事業内容	(財)ファインセラミックスセンター	2000年第3号
62	リンク総研テクニカルサポートシステム(LIBA-TSS)	(株)リンク総研	2000年第3号
63	あたたかインナー	ゲンゼ(株)	2000年第4号
64	遠赤加熱ホッパソックス、ジャー炊飯器、遠赤ホットパルなど	シャープ(株)	2000年第4号
65	遠赤外線ヒータ「チャールホット」足元ヒータ「スポットウォーム」	(株)ゼンケン	2000年第5号
66	オーラムーンバリー繊維製品の種類と保温効果	豊田紡織(株)	2000年第5号
67	遠赤外線ヒーター(床置きタイプ、タイマー付き、天吊りタイプ)	(株)デンソー	2000年第6号
68	電磁環境対応型加温式陰電位治療器「ダンククリニック」	(株)大阪西川	2001年第1号
69	石油遠赤ヒーター、炭遠赤フッ素樹脂コート釜の炊飯器	松下電器産業(株)	2001年第1号
70	プラチナ繊維「DIAα」の製品紹介(アルファケット等)	ダイヤモンド糸(株)	2001年第2号
71	オープントースター用遠赤ヒーター管の紹介	日本電気硝子(株)	2001年第2号
72	遠赤外ヒータ、板金塗装乾燥機、小型卓上リフロー炉など	テービ熱学(株)	2001年第3号
73	プラチナフォトン健康寝具、プラチナフォトン浄水器	三井物産(株)	2001年第3号
74	遠赤外線電気ストーブ、遠赤外線暖房テーブル	三洋電機(株)	2001年第4号
75	遠赤外放射ヒータ(パル型、ストレート型、セラミックヒーター)	(有)AMK	2001年第5号
76	省エネルギーセンターの主な事業内容紹介	(財)省エネルギーセンター	2001年第5号
77	多機能脱臭剤、入浴製品、水質浄化、鮮度保持	岩田礦工業(株)	2001年第6号
78	東京電力における電気加熱への取り組み	東京電力(株)	2002年第1号
79	総合エネルギーサービスに向けて	関西電力(株)	2002年第2号

80	コスモビサの特徴と商品紹介	中谷産業(株)	2002年第4号
81	耐熱塗料と遠赤外線との関わり、紫外線との取り組み	(株)民益	2002年第5号
82	ジャードは遠赤外線ヒータのバイオニアです	(株)ジャード	2002年第5号
83	最近の赤外線サーモグラフィ、カメラの紹介	日本アビオニクス(株)	2002年第6号
84	遠赤外線暖房機「サンルーム」について	日本遠赤外線(株)	2003年第1号
85	明日のニーズに答える遠赤外線ヒータと応用機器	テービ販売(株)	2003年第2号
86	介護福祉用具商品・健康福祉用具商品	(株)ユメロン黒川	2003年第3号
87	遠赤外線暖房器、厨房排水浄化装置、生ごみ高速処理装置	NECリビングサービス(株)	2003年第4号
88	遠赤外線ヒーター、加熱システム	(株)リタケカンパニーリミテド	2003年第5号
89	ドクターセラN、整圧敷きふとん、チタンサーモなど	西川産業(株)	2003年第5号
90	千住テクノセンター、メタルニットバーナ	東京ガス(株)	2003年第6号
91	遠赤外線低温サウナ、汚水再生処理システム	栃木電子工業(株)	2003年第6号
92	遠赤外線ヒータ、ヒータパネル、加熱炉、テスト装置	日本ガイシ(株)	2004年第1号
93	常圧焼結SiC「CERASIC」	東芝セラミックス(株)	2004年第2号
94	オーラ製品4つのポイント	(株)メカニカルプラネット	2004年第2号
95	天然原料のスペシャリスト&陶器関連製品	マルイクレイアンドセラミックス(株)	2004年第3号
96	遠赤外線ヒータ「スーパーターボ」と「ハニーコム」	(株)万雄	2004年第3号
97	遠赤外線暖房器「ほか暖くん」、放射乾式遠赤外線ヒータ等	(株)桂精機製作所	2004年第4号
98	遠赤外線関連研究の紹介(室内温熱環境と快適性指標PMVの解析例、日射反射塗料の省エネ効果の評価例)	(財)電力中央研究所システム技術研究所	2004年第5号
99	遠赤外放射ヒータとその応用装置、各種流量計、各種燃焼機	日精オーバル(株)	2004年第6号
100	ファーベストファイバー「光電子繊維」	(株)ファーベスト	2004年第6号
101	厨房・給湯・暖房・空調機器、業務用機器	リンナイ(株)	2005年第1号
102	機能的繊維製品、遠赤外線放射繊維	(株)クラレ	2005年第1号
103	セラミックコーティングフライパン(遠赤外線関連商品)	(株)リバーライト	2005年第2号
104	ジェットヒーター	オリオン機械(株)	2005年第2号
105	自走式ガス遠赤外線乾燥装置、メタルニットバーナ使用熱風発生装置	細山熱器(株)	2005年第3号
106	金型予熱用輻射バーナの開発(平成17年度優秀製品)	(株)桂精機製作所	2005年第4号
107	自動車用塗装部分補修乾燥機(平成17年度優秀製品)	テービ熱学(株)	2005年第4号
108	会社概要、製品紹介(緑茶、野菜飲料ほか)	(株)伊藤園	2005年第6号
109	CSRの取り組み、企業理念、お客さまサービスの充実他	中国電力(株)	2006年第2号
110	会社概要、製品紹介(遠赤外線ヒーター素子、炭素繊維線他)	(株)チップ ジャック	2006年第2号
111	会社概要(富士山溶岩浴とは、マグマスパ®の原理・装置他)	(株)マグマスパジャパン	2006年第3号
112	会社紹介、インターネット・個別試し焼き・パンセミナー、展示会他のPR活動	キューーハン(株)	2006年第3号



144	会社沿革・概要、光冷暖とは、光冷暖システムのメリット、温度推移	KFT(株)	2015年第2号
145	会社沿革・概要、《KWD WORLD PREMIUM》と《真羽毛》のラベルに込めた安心と安全への想い	河田フェザー販売(株)	2016年第2号

	○連載解説	(著者：敬称略)	(掲載年号)
	遠赤外線の基本(1)～同上(20)－番外編－	TKエンジニアリング(株)：木村 嘉孝	1997年第4号～2000年第4号
	遠赤外加熱と樹脂(プラスチック)加工(1)(2)	日本ガイシ(株)：豊嶋 正吾、丹羽 智義、大西 雅也	1999年第1号～第2号
	食品および代謝関連物質の赤外分光分析とその応用(1)(2)	三重大学生物資源学部：橋本 篤、亀岡 孝治	2005年第1号～第2号
	F T A (1)～(3)	協会事務局	2005年第5号～
	最近の遠赤外加熱論文から(1)～同上(75)83. サツマイモの赤外乾燥《サツマイモの乾燥速度論と再水和比に及ぼす遠赤パワーレベルの影響》	TKエンジニアリング(株)：木村嘉孝	2001年第4号～2017年第1号

	○自由投稿(題名又は内容概略)	(著者：敬称略)	(掲載年号)
1	私のこだわり(水車と池のある庭づくり)	協会専務理事：川西 康裕	2002年第1号
2	私のこだわり(表紙絵に係わる雑感)	日本ガイシ(旧)：鈴木 健夫	2002年第2号
3	私のこだわり～碁棋書画の一角へ	ノリタケカンパニー：小椋 裕	2002年第6号
4	私のこだわり～その日は涙に暮れる日	協会事務局局長：牧 洋伸	2003年第1号
5	私のこだわり～自然の原点	日精オーバル：加藤 正頭	2003年第2号
6	私のこだわり～品質工学を学んで	オリオン機械：村岡 正一	2003年第3号
7	私のこだわり～熟年夫婦アジア旅行	協会技術部長：丹田 幸孝	2003年第4号
8	私のこだわり～魚を釣り続けて50年	高田技術事務所：高田 紘一	2003年第5号
9	私のこだわり～煎茶の香りへの挑戦	伊藤園：竹尾 忠一	2003年第6号
10	私のこだわり～サイクリングとウォーキング	協会顧問：清水 賢	2004年第1号
11	私のこだわり～飛行機	電力中央研究所：中野 幸夫	2004年第2号
12	私のこだわり～猫と私	協会専務理事：鈴木 誠行	2004年第3号
13	私のこだわり～焼き物(陶磁器)と私のお宝	協会事務局：高谷 清	2004年第5号
14	私のこだわり～私とドライブ旅行	協会顧問：中島 利誠	2004年第6号
15	ニューヨーク滞在記	防衛大学：小笠原 永久	2005年第1号
16	日本の風景探訪(十和田湖カルデラを訪ねて)	日本ガイシ：近藤 良夫	2005年第2号
17	私のこだわり～定年後の楽しみ	桂精機製作所：古川 安夫	2005年第3号
18	愛・地球博見学記	日本ガイシ：織田 健一郎	2005年第4号
19	随筆～「ツバメ」の巣作り	経済産業省：石森 則夫	2005年第5号
20	私のこだわり～癒し	協会事務局：高橋 和夫	2005年第5号
21	私のこだわり～リーダーのあり方、果たすべき役割	桂精機製作所：丸茂 等	2006年第3号

22	私のこだわり～学生実験に関する教育方法	実践女子大学：鎌田 佳伸	2006年第4号
23	私のこだわり～R & A雑感	協会会長：松下電器産業(株) 大森 秀樹	2006年第5号
24	私のこだわり	協会副会長：旭硝子(株) 遠山 明	2006年第6号
25	私のこだわり～協栄共存～	協会副会長：グンゼ(株) 柳澤 博文	2007年第1号
26	私のこだわり～小さな頃の夢～	協会広報小委員会会長：旭硝子(株) 篠原 伸広	2007年第2号
27	私のこだわり～研究開発リーダーの5つの役割～	協会運営委員長：松下電器産業(株) 守屋 好文	2007年第3号
28	私のこだわり～アジアの旅に魅せられて～	広報小委員会委員：関西電力(株) 角谷 孝義	2007年第4号
29	私のこだわり～青春18切符を使つての旅～	広報小委員会委員：(株)クラレ 凧 比佐志	2007年第5号
30	私のこだわり～リタイア後も遠赤外加熱、そしてスポーツ～	広報小委員会委員：木村技術事務所 木村 嘉孝	2007年第6号
31	私のこだわり～においと多様性	広報小委員会委員長：旭硝子(株) 高橋 秀雄	2008年第1号
32	私のこだわり～休日の過ごし方～	広報小委員会委員：中部電力(株) 田畑 雅宏	2008年第1号
33	私のこだわり～病により道心は起こり候～	広報小委員会委員：東京ガス(株) 村瀬 孝輔	2008年第2号
34	私のこだわり～営業暦20年のこだわり～	広報小委員会委員：日本ガイシ(株) 丹羽 智義	2008年第4号
35	私のこだわり～遠赤干し柿(あんぼ柿)	協会理事：タバネパワースタッフ(株) 立花 孝全	2009年第1号
36	私のこだわり～赤外線研究へのこだわり	功労賞受賞者 東京農工大名誉教授：清水 賢	2009年第3号
37	私のこだわり～当社の遠赤外線ヒーター事業の変遷	協会副会長：(株)リタケカンパニーリミテド 小倉 忠	2009年第3号
38	私のこだわり～焼き物に触れる	協会理事：日本ガイシ(株) 伊藤 嘉典	2009年第4号
39	私のこだわり～直火のよさ	広報小委員会委員：リンナイ(株) 竹本 安伸	2010年第1号
40	私のこだわり～当社の遠赤外線放射性繊維<ロンウェーブ>	協会理事：(株)クラレ 豊浦 仁	2010年第4号
41	私のこだわり～セラミックス赤外線バーナー事業の変遷	協会副会長：リンナイ(株) 近藤 雄二	2011年第1号
42	私のこだわり～遠赤外線との出会い	協会理事：東京ガス(株) 高柳 雅己	2011年第1号
43	私のこだわり～大阪ガスの遠赤外線加熱の取り組み	協会理事：大阪ガス(株) 久米 辰雄	2011年第3号
44	私のこだわり～やさしい暖かさ、遠赤外線肌着	協会理事：グンゼ(株) 丸岡 孝	2011年第3号
45	私のこだわり～遠赤外加熱の技術体系	協会顧問：木村技術事務所 木村 嘉孝	2011年第4号
46	私のこだわり～遠赤外線て何？から始まる探究	運営委員長：(株)ノリタケカンパニーリミテド 牧野 哲哉	2011年第4号
47	私のこだわり～衣服の保温性評価	協会顧問：中島 利誠	2012年第1号
48	私のこだわり～東京都港区海岸1丁目(東ガス発祥の地)	協会理事：東京ガス(株) 松本 幹雄	2012年第3号
49	私のこだわり～何鹿郡延村(グンゼ発祥の地)	協会事務局：井上 なおみ	2012年第3号
50	私のこだわり～鷹場村則武(ノリタケ発祥の地)	協会理事：(株)リタケカンパニーリミテド 島崎 悟	2012年第3号
51	私のこだわり～研究開発者編	高田技術事務所：高田 紘一	2012年第3号
52	私のこだわり～研究開発者編	協会顧問：渋川 祥子	2013年第1号
53	私のこだわり～研究開発者編	電力中央研究所：宮永 俊之	2015年第3号
54	私のこだわり～研究開発者編	産業技術総合研究所：石井 順太郎	2016年第3号